

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

田原市地域公共交通会議 (田原市)

平成19年3月23日設置

平成26年6月 田原市地域公共交通網形成計画作成
(計画期間：平成26年度6月～令和5年3月)
※令和5年度まで延長予定

令和3年6月18日 フィーダー系統 確保維持改善計画策定等

令和4年1月14日 令和3年度評価結果送付

(1) 田原市の概要

- ・人口59,360人※令和2年国勢調査
- ・渥美半島に位置し、市町村合併で田原・赤羽根・福江の市街地と集落地域で構成
- ・地理的・産業的条件から、マイカー依存度が極めて高い

(2) 第2次田原市地域公共交通戦略計画（地域公共交通計画）について

将来像：だれもが安心して移動できるまち

取組姿勢：協働で“つくり・守り・育てる”公共交通網

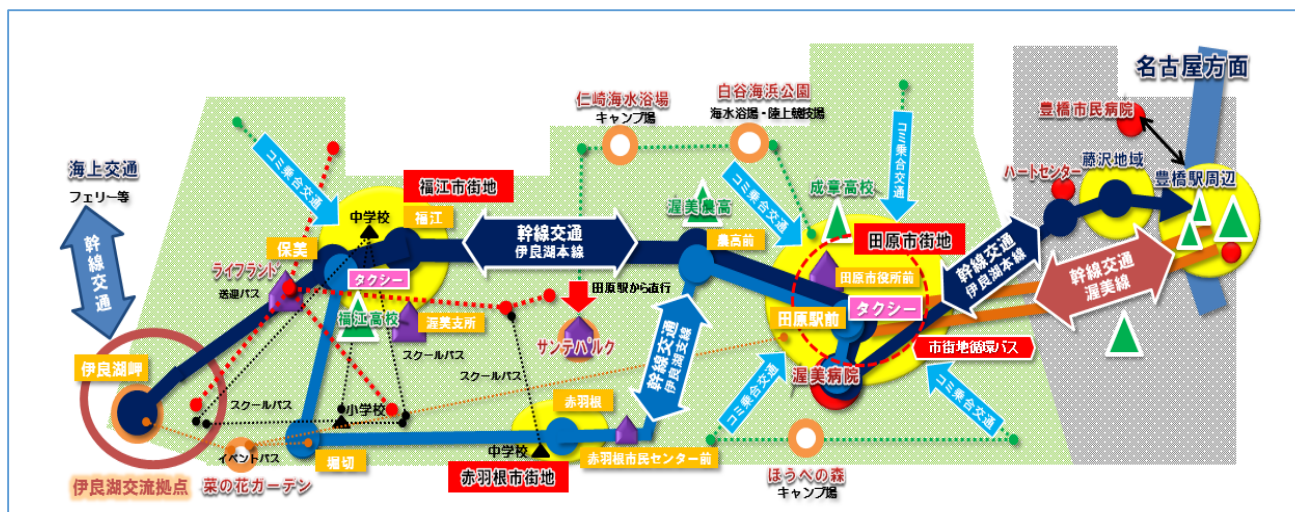
全体目標：まちづくりの基盤となる公共交通の確立

計画期間：平成26年度から令和4年度（平成34年度）まで

※本計画期間は、改訂版第1次田原市総合計画（以下：総合計画）に準じているが、総合計画が新型コロナウイルス感染症による不安定な社会情勢を踏まえ、次期計画の計画年度及び策定年度を変更したことを受け、目標年度を1年延長し、令和5年度に変更予定

定量的目標：市内公共交通利用者数維持（165万人）

：ぐるりんバス1便当たり乗車人数5.0人以上、ミニバス3.0人以上



※補助対象路線

- ・地域間幹線系統補助：豊鉄バス：伊良湖本線・支線
- ・フィーダー系統補助：コミ乗合交通（田原市ぐるりんバス）

2.【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
★コミュニティバスの運行	令和元年10月に路線変更及び廃止（一部統合）	前年比較13%増 (78,297人⇒89,003人)	コロナ禍の影響で減少した利用者は、商工団体と連携した利用促進等の結果、利用者数が増加した
路線カルテの作成及び地域との協議	- カルテ作成 - 沿線校区への情報提供（表浜線利用推進協議会の開催等）	校区主体のコミバスの利用促進等の実施 ＊年間約5件/沿線校区	- 校区に対しコミバス利用状況を報告 - 地域も自分事として考え、地域主体で利用促進等が実施された
運転免許証自主返納支援事業の継続実施（H29～）	免許返納者へコミバス1年間無料乗車券等の支援実施	市内返納者数前年比較13%減 (229人⇒199人)	- 前年度より返納者数は減少しているが、事業開始前と比較すると約2倍の返納数が継続的にあり効果は継続している認識 - 今後は今年度並の数字で推移する予想 〔コミバス無料乗車券〕
高校生バス通学用定期券購入助成の継続実施（R1～）	市内在住豊鉄バス利用高校通学者へ通学定期購入費3割助成	申請者数前年比較15%減 (710件⇒606件)	- 高校生年代の減少 - 田原地域から福江高校へ通学減少 - それに比例し、定期利用者減少 〔通学の様子〕

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
ぐるりんバスの系統識別番号導入の実施（令和3年10月1日）	・系統識別番号記載（車両、ガイドブック等）	ぐるりんバス車両（9台）の方向幕等への掲載ガイドブック（毎年全戸配布26,000部）への掲載	・市内利用者、技能実習生等に対し、分かりやすい情報提供を実施  [系統識別番号一覧]
ハロウィンイベント利用促進（令和3年10月23日～11月7日）	・車内ラッピング ・地元イベントでの利用促進グッズ配布	ぐるりんバス2台（海号、花号）でラッピング実施	・未就学児、保護者を中心に初めて利用したとの反響があった  [ラッピングの様子]
商工団体と連携した利用促進① ＊ぐるりん×たまぽスクラッチ大作戦（令和3年11月15日～12月31日）	・バス利用者へスクラッチカードを配布 ・地元ポイントカードと連携	前年度比較イベント期間のぐるりんバス利用者数12%増	・常連の方中心に、乗車の際、毎回スクラッチカード結果を、乗務員等と話題にする等好評であった印象 ・一方、期間中の地域ポイントカードの新規加盟者の増加は見られず、バス常連の利用者が多く利用した
商工団体と連携した利用促進② ＊渥美半島ぐるっと得々クーポン祭（令和4年6月1日～8月31日）	・バス利用者へクーポン券配布 ・地元商店等と連携	前年度比較イベント期間のぐるりんバス利用者数1%増	・ぐるりんバス利用者は前年度比較変化なし ・車内配布枚数約1,000枚に対し利用枚数28枚と少なく、利用方法等の周知が不十分であった  [イベントポスター]

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
ラッピング車両の導入 周知活動の実施(令和4 年11月～)	・新車両導入、オ リジナルペー パークラフト作 成・配布	各種イベントでオリジナ ルペーパークラフト配布 (累計約300枚)	・各種イベント等参加時 積極的にペーパークラ フトを配布し、未就学 児を中心にぐるりんバ スへの興味を醸成 
東三河地区で連携した 取組（東三河地域公共 交通活性化協議会） (令和4年7月21日～9月 18日)	・50円バスの実施 ・バス整理券ラ リー＆徳川家康 謎解きゲーム実 施	前年度比、ぐるりんバス 利用者11%増 (110⇒122)	・イベント期間、バス利用者数は増加しており、一定の効果があった
エコフェスタブース出 展(令和4年7月31日)	・公共交通に関す る情報展示 ・オリジナル缶 バッチの配布	ブース来場者約100名	・エコがテーマのイベントで、来場者に対し 公共交通を利用することがエコにつながる ことをPR出来た
豊橋鉄道渥美線、豊鉄 バスと連携したイベン トの開催(令和3年10月 30日、令和4年8月6日、 令和4年8月27日)	・車庫見学ツアー ・夏休み親子バス 体験ツアー ・目指せ！渥美線 博士	3イベント参加者約430名	・コロナ禍で中止していたイベントを再開 ・多くの申込があり、未就学児等のバスや 電車の人気を認識 ・関係機関と連携し、 継続実施予定 

[新車両]

[バスとの綱引き]

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

(1) 自己評価を行った会議

・令和4年12月26日（月） 田原市地域公共交通会議

(2) 目標に対する評価（第2次田原市地域公共交通戦略計画評価）

目標	目標値 (H28・H29集計値)	達成状況＊			目標達成状況
		H31年度	R2年度	R3年度	
市内公共交通利用者数の維持	165.0万人	160.2万人	107.4万人	115.7万人	未達成
内訳	目標値（人）	H31年度	R2年度	R3年度	
鉄道（渥美線・市内4駅）	733,000	732,365	514,457	557,108	未達成
路線バス（伊良湖本線・支線）	329,000	316,186	286,341	259,370	未達成
フェリー・高速船	387,000	362,871	139,101	194,624	未達成
コミュニティバス	97,000	95,930	78,297	89,003	未達成
タクシー	104,000	95,602	56,409	57,475	未達成
計	1,650,000	1,074,605	1,074,605	1,157,580	

※対象期間は、第2次田原市地域公共交通戦略計画の目標に合わせ、4月から翌年3月末までとしている。

◆考察

- ・対象期間、昨年度比、若干増が見られたが、令和元年度（コロナ禍以前）比はまだ大きな減少
- ・通学・通院は回復傾向にあるが、コロナ禍での生活様式の変化等で、定期利用者の減少や観光利用が減少しており、以前の数字や目標数値までの回復は難しい状況

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

(3) コミュニティバスに関する評価（生活交通確保維持改善計画目標評価）

区分		目標	達成状況（※）			達成状況	利用者数 (R3)	便数 (R3)
			H31年度	R2年度	R3年度			
ぐるりん バス	市街地線	1便当たり利用者数を 5.0人以上にする。	3.3人／便	3.1人／便	3.9人／便	未達成	18,397	4,745
	童浦線		6.3人／便	6.3人／便	7.5人／便	達成	36,570	4,849
	サンパル線		3.8人／便	4.3人／便	4.4人／便	未達成	24,157	5,527
ぐるりん ミニバス	表浜線	1便当たり利用者数を 3.0人以上にする。	2.9人／便	2.5人／便	2.7人／便	未達成	10,011	3,650
	中山線		2.6人／便	2.3人／便	2.3人／便	未達成	5,902	2,555

※対象期間は、生活交通確保維持改善計画の期間に合わせて10月から翌年9月末までとしている。

◆考察

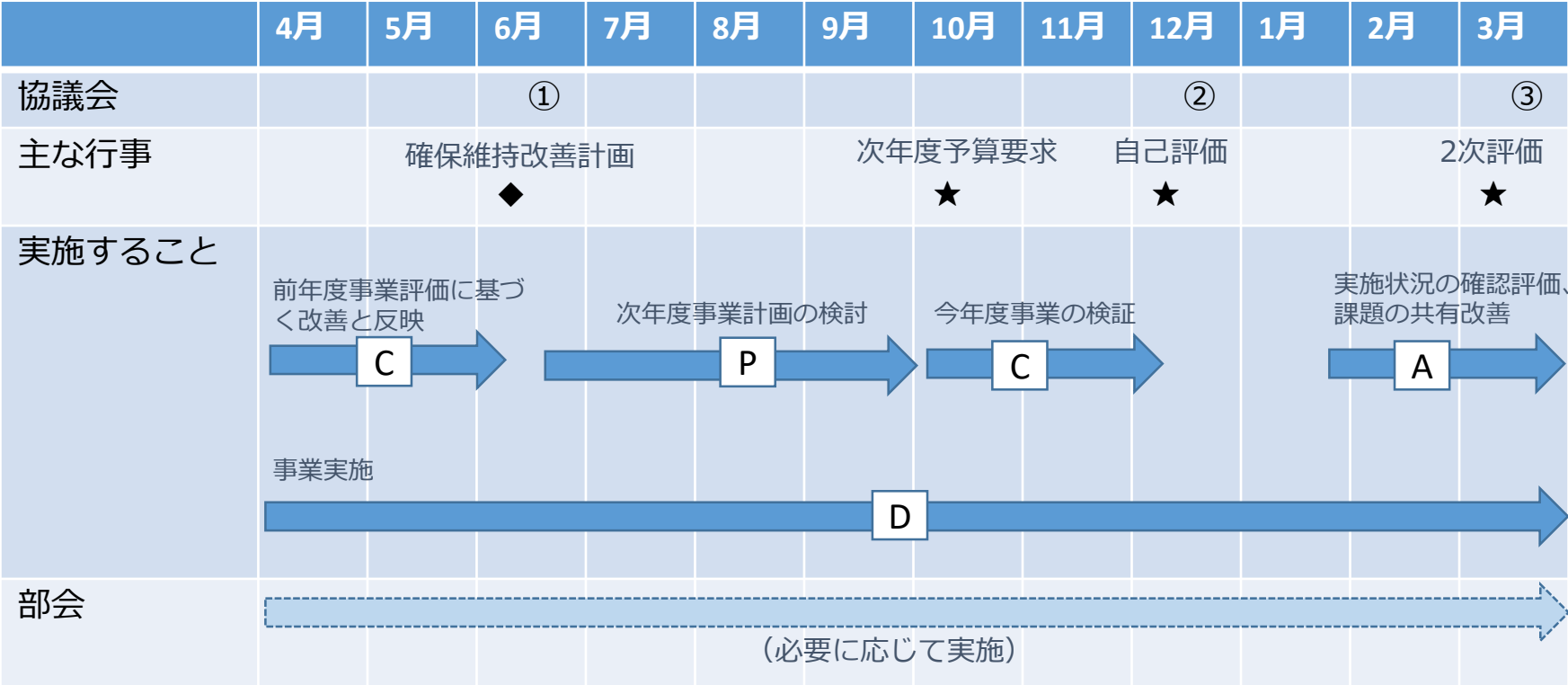
- ・路線全体：前年比、中山線以外の実績値は増加。新型コロナウイルスの感染者数と比例した利用者数の増減は鈍化傾向。現在の数値がコロナ後の基本的な数字であるとの認識による施策立案が必要。
- ・市街地線：前半はコロナ禍の影響等で高齢者利用者数が減少。後半は通院目的の利用者を中心に回復傾向。中心市街地の商業施設と連携した利用促進等も増加要因の要因。
- ・童浦線：臨海部企業従業員等の利用が回復傾向となり、利用者数は高い状況。
- ・サンパル線：中心市街地への通院、中学生通学利用者数等で、一定数の利用者数確保。
8月は小中学校夏季休暇の影響で利用者は減少。
- ・表浜線：新型コロナウイルスの影響による、利用者数減は、若干の回復傾向だが、免許返納者等が新規利用者に移行していかないのが課題。
- ・中山線：新型コロナウイルスの影響により、利用者数減は、回復傾向が鈍く、新規利用者がいない状況が継続しており、利用者の減少が続いている。従って免許返納者等の新規需要の開拓が課題。

	計画目標の 現在の到達点	今後の取組方針
第2次田原市地域 公共交通戦略計画	市内公共交通利用者数、目標未達 目標値：165.0万人 実績値：115.7万人 達成率約70%	- 新型コロナウイルス感染症対策を実施し、利用者に対して安全な公共交通であり続けられるとともに、市民、地域、事業者、行政等が協力し、田原市地域公共交通会議を中心に現状の公共交通ネットワーク機能の維持活性化のため、各モードごとに利用促進を実施 - 運転免許証自主返納事業、高校生通学バス定期券購入助成を継続実施 - 東三河地域と連携した広域的な利用促進を継続実施 - 現在の生活様式に対応した公共交通の在り方の検討を実施
生活交通確保維持 改善計画	- ぐるりんバス1便当 たり乗車数 目標達成：童浦線 目標未達：その他4 路線 * 利用者数は新型コロナ ウイルス感染症の 影響から回復傾向	- 新型コロナウイルス感染症対策を実施し、利用者に対して安全な公共交通であり続けられるとともに、DX等の技術を活用した利用促進に取り組むとともに、引き続き商業施設や商業団体と連携した利用促進策等を実施し、官民一体となった「守り育てる」利用促進事業を検討実施 - 路線カルテを用いて路線ごとの利用実態を検証し、地域と連携して利用促進を検討実施 - バス停ごとに利用者の分析を行い、実態に合わせ、変更が必要な場合は随時ダイヤ・ルート等の変更等検討

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	・引き続き関係者と連携した利用促進を図られ、観光客誘致に向けても情報発信されるよう期待します。	ぐるりん×たまぼスクラッチ大作戦及び渥美半島ぐるっと得々クーポン祭等実施	引き続き、地域と連携した利用促進を実施予定
	・市外の方や外国人等を含む新規利用者にも分かり易く、利用しやすい環境づくりに向けた取組に期待します。	未対応	今年度外国語版のバスの乗り方情報を配信予定
	・路線カルテを活かして地域との利用促進策の検討をすすめ、取組に結びつくよう期待します。	路線カルテを沿線校区と共有 校区主体の利用促進等実施	情報共有を継続実施
	・地域間幹線系統である伊良湖支線（福祉c堀切）について、輸送量や平均乗車密度の低下が見られますので、保美地域の再編と相まって、引き続き利用促進を図られるよう期待します。	渥美半島ぐるっと得々クーポン祭実施	引き続き、利用促進を行うと共に、運行事業者と連携を取りながら、適正な運行内容を検討
前々回	・路線カルテを用いた分析及び地域と協働した利用促進を図ることを期待します。特に、R1年10月に変更したコミュニティバスの利用状況等を継続して分析評価して頂くようお願いします。	路線カルテを沿線校区と共有、校区主体の利用促進等実施	情報共有を継続実施
	・鉄道やフェリーも含めた公共交通ネットワーク全体の評価及び利用促進を期待します。	未対応	令和4年10月、渥美線と連携したデジタルチケットを発売。
	・東三河地域が一体となった利用促進を引き続き期待します。	50円バス及びバス整理券ラリー＆徳川家康謎解きゲーム実施	東三河で連携した利用促進等を継続実施予定

※前回：令和4年3月10日、前々回：令和3年3月1日

<年間単位の進捗管理、評価スケジュール>



【協議会の実施状況】

- 第57回協議会① 令和3年6月16日
主な議題：田原市生活交通確保維持改善計画（案）について〔承認〕
- 第58回協議会② 令和4年1月14日
主な議題：令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価（案）について〔承認〕
- 第59回協議会③ 令和4年3月25日
主な議題：令和4年度事業計画・収支予算（案）について〔承認〕
- 第60回協議会① 令和4年6月15日
主な議題：田原市生活交通確保維持改善計画（案）について〔本計画の承認〕